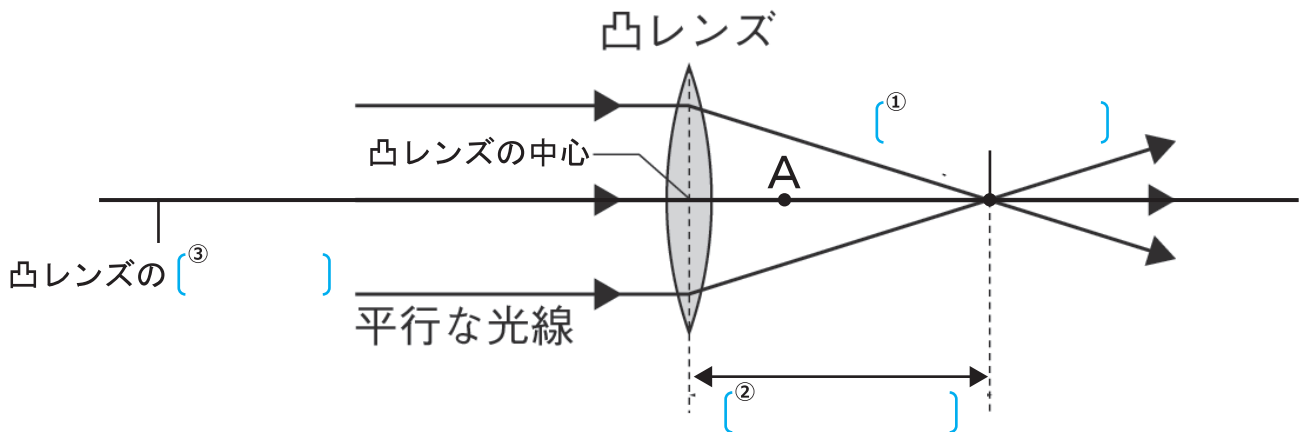


# 凸レンズの働き (1)

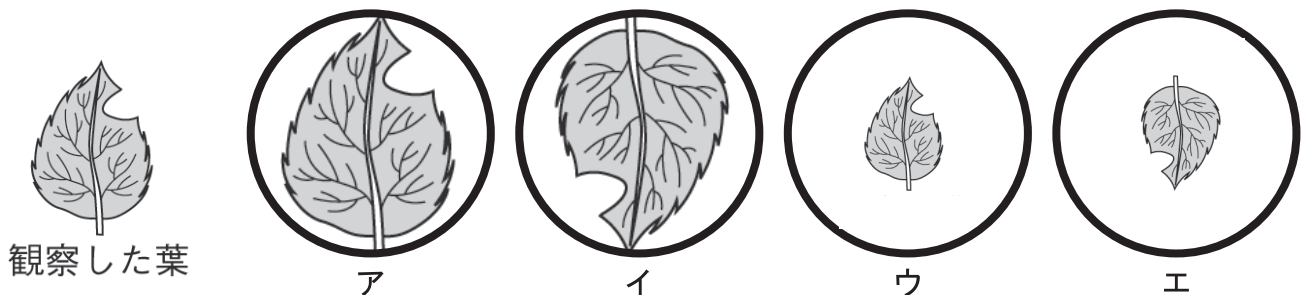
【1】次の文章の ( ) に当てはまる言葉を書くか、○でかこみなさい。

- (1) 物体の実際の大きさを変えて見たい時に、レンズを利用すると良い。レンズには、中心がふくらんだ形の ( 凸レンズ・凹レンズ ) と、中心がへこんだ形の ( 凸レンズ・凹レンズ ) がある。
- (2) レンズを通して見えるものや、スクリーンにうつって見えるもののことを ( ① ) という。さらに、凸レンズで見たときに同じ向きで実物より大きく見えるものを ( 実像・虚像 ) といい、スクリーンに上下左右が逆にうつるものを ( 実像・虚像 ) という。
- (3) 凸レンズの軸に ( 垂直・平行 ) な光を当てると、レンズを通った光が一点に集まる。この点を ( ② ) といい、レンズの中心からこの点までの距離を ( ③ ) という。
- (4) 太陽の光が凸レンズを通ると、( ②の位置に集まる・レンズの軸に平行に進む )。
- (5) ②は凸レンズの ( 片側に1つだけ・両側に1つずつ ) ある。

【2】次の図は凸レンズを通る光の進行を表したものである。



- (1) ( ) に当てはまる言葉を書きなさい。
- (2) A の位置に図のような葉を置いて、反対側からレンズをのぞくとどのように見えるか、下の図ア～エから正しい物を選びなさい。



答え ( )